

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル塔ヶ崎（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育スペースの整理整頓に努め、子どもにとって安全で心地良く過ごせる環境を提供している。	生活空間の整理整頓や清掃に努め、心地よく過ごせる環境作りを行っている。また、児童の活動に適した配置等を行っている。	ヒヤリハット報告などを活用し、環境整備についてより安心安全に配慮した配置や、危険個所の発見に努めていく。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行い、保護者の理解を得たうえで利用が開始できる。	保護者へ分かりやすく、過不足なく説明している。	定期的に運営規程や支援プログラムについての説明を、改めて行っていくことも有効である。
3	日頃から児童の状況を保護者と伝え合い、児童の健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳を通して児童の状況等を保護者へ伝達している。	保護者との関係をより強化し、保護者の悩みやニーズなどを確認していき、児童の支援へと繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込んだ活動を企画し、周知していくことが必要であると感じる。
2	職員数の余裕を持った配置が難しい。	人材の確保・育成・定着に関する取り組みに弱さがある。	人材の確保・育成・定着に関する取り組みに力を入れ、また近隣事業所とも連携し、事業所間で必要となる人員配置のやりとりをスムーズに行えるようにする必要がある。
3	保護者同士の交流の機会を十分に提供できていない。	保護者会やきょうだい向けイベントの内容が定まっておらず、頻度も多くないため、保護者へ浸透していないため。	定期的に保護者会やきょうだい向けイベントを企画・実施し、保護者へ案内をすることで周知を図っていく。